

小海高等学校生活指導係発行

青板指導から思うこと

本校では授業中に携帯電話が鳴ったり、他のこと（読書など）を行っていたりして授業を軽視した行動等をする、日々の学校生活を見直すために指導日誌を持って担当の先生にサインをもらう指導を行っています。その日誌を青いバインダーにはさんで持ち歩いているので「青板（あおばん）指導」と呼んでいます。しっかり行えれば担当の先生のサインがもらえます。しっかりできない場合は担当の先生のサインがもらえず指導期間が延長します。

今年度の現状は下記の通りです。**特に6月に入ってから携帯電話のマナー違反で指導になる生徒が増えています。**改めて普段の姿勢を見直してより良い学校生活になるように心がけましょう。

【4月から6月11日（金）までの青板指導状況】

- 携帯電話のマナー違反（授業中に鳴る、いじる）・・・10人
 - 授業軽視（ガム、落書き、悪ふざけ、関係のない行動 等）・・・8人
 - 無断アルバイト・・・2人
 - さぼり（連絡なしの遅刻及び欠席）・・・1人
- 合計・・・21人

いじめとは！？

文部科学省ではいじめを次のように定義しています。

「当該児童生徒が、一定の人間関係のある者から、心理的、物理的な攻撃を受けたことにより、精神的な苦痛を感じているもの。」

相手が「いじめ」と感じれば、それはいじめになるということです。最近のニュースでも「いじめ」に関することが幾度となく報道されています。他人事と思わず、まずは自分の行動を見直して考えてみましょう。知らずのうちに相手を傷つけていませんか？

～インターネット・SNS上の書き込みの例～

- LINEのグループから仲間外れを作って誹謗中傷を書き込む。
- Twitterなどで、特定の人物が分かるようにして、そこで誹謗中傷を書き込む。

～悪ふざけ・そのつもりはなくても～

いじている側は、ふざけ・からかい程度にしか認識していないケースも沢山あります。学校は大勢が共同で生活する場です。お互いに不愉快な思いをしないためにも次のような言葉を使わないようにして下さい。「**きもい**」「**うざい**」「**死ぬ**」など個人を攻撃するような言葉です。また、**悪ふざけで軽く叩いたり蹴ってしまったりすること**が、相手に嫌な思いをさせてしまうことがあります。相手のことを考えたり、冷静さをなくさずに感情をコントロールできることが精神的な成長です。自分自身を見つめ直しましょう。